

久留米大学を受診した患者さんへ

「過去5年間の睡眠障害クリニックを受診した児童期・思春期患者の疫学調査」の研究に使用する情報について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の情報を使用します。

- 1) 受診期間：平成24年1月から平成28年12月の間に受診
- 2) 受診科：精神神経科 睡眠障害クリニック
- 3) 対象疾患名：500名
- 4) 使用する情報：診療情報

あなたの情報を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：久留米大学医学部 神経精神医学講座
 研究代表者：准教授 橋爪祐二
 研究分担者：教授 内村直尚
 講師 小島居望
 助教 比江嶋啓至
 助教 森裕之
 助教 和佐野研二郎
 助教 大島勇人

2) 研究の意義と目的：現代社会では、子供の睡眠時間の減少とともに、睡眠時間の後退や、昼間の眠気（授業中に居眠りをする）ことが問題になっています。久留米大学精神神経科には睡眠を専門とした外来があり、この数年間で睡眠障害の児童期・思春期の患者さんが増加している。このような疾患の背景としてどのような事に関与しているか、今までに受診した患者さんの診療録やその当時にとった自記式うつ病尺度、ピッツバーグ式睡眠質問表などをもとに児童期・思春期の睡眠の問題について調査を行っていきます。

3) 研究の方法：平成24年1月から平成28年12月の過去5年間の診療録、ピッツバーグ式睡眠質問表、自記式うつ病尺度、当時に行った生理学的検査（終夜睡眠ポリグラフ、反復睡眠潜時テスト）を解析します。

- 4) 研究期間：平成29年1月倫理委員会承認後～平成29年12月31日

5) 上記の情報の使用を選定した理由：現代の小児期・思春期の睡眠障害の原因について詳細に知るために診療録や各種の自記式質問表や客観的な検査からの情報を使用することが最適であるためです。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：プライバシーは一般には完全に分からないように配慮する。個人は特定できないように配慮を行います。

7) 研究成果の発表の方法：明確な調査結果がでた場合は日本精神神経学会または日本睡眠学会等で研究結果を発表する予定です。

8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はないため、利益相反は発生しません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

橋爪 祐二 久留米大学医学部 神経精神医学講座

830-0011 福岡県久留米市旭町 67

TEL : 0942-31-7564 (直通) FAX : 0942-35-6041